

東日本大震災 全日本民医連支援ニュース

現地の仲間・住民と連帯し「民医連ここにあり」の心意気でともに力を合わせて頑張りましょう！

NO. 7 2011. 3. 15 20:45 発 全日本民医連対策本部

= 支援者数 350を超える！！ =

現地支援 待機指示は解除

本日出発を予定していた支援団に対して、原発事故の状況を考慮して午前中に出した待機指示は解除とします。新しい事態にならない限り、現時点の方針では、支援は続行します。☆詳しくは添付ファイル「原発事故に関わって人的支援の再開について」をご覧ください。

支援の際の留意点:

- 本人に正確な情報を伝え、本人の意思を確認したうえで支援隊を組織してください
- 放医研の注意事項や対策本部発「ヨウ素剤の取り扱いについて」をふまえ、予防的措置をとること
- 交通ルートは東北道も特に問題ないです

<診療用の薬剤について、本日出された現地の要望(可能なものだけでも)>

- * 粉ミルク(避難所用にも) * インスリンおよびその注射器 * BP薬(血圧剤) * 吸入薬(エアゾール、サルタノール、ベコダイド) * 三方活栓 * ハルトマン輸液 * ペンマリン注 * ソリタT3 500
- * キンダリーAF * PNツイン * テルモ生食

支援予定者を全日本民医連に集中お願いします！

各地から続々と支援が具体化しています。もれなく把握するために、支援予定者を全日本民医連に集中してください。医療福祉生協連を通じて支援に参加する場合も、民医連へ報告をお願いします(共同してとりこんでいます)

福島第一号原発事故の事故をうけて 事務局長談話を発表

本日、標記談話を発表しました。対策本部から発信済みです。

「昨日(3月14日)明らかになった2号機炉心の空だき状態により、燃料棒が溶け出すことを否定できない状況は、これまでとは決定的に異なるきわめて重大な事態を迎える可能性があります。こうした事態に対して、海外のメディアや大使館は重大な関心を示しています。

高濃度の放射性物質が持続的に放散、拡散する事態について、国民、地域住民がどのように対応すべきか、国は正確な情報を提供する責任があります福島第一原高濃度の放射性物質が持続的に放散、拡散する事態について、国民、地域住民がどのように対応すべきか、国は正確な情報を提供する責任があります。(中略)

放射線医学総合研究所のスタッフは、JCO事故を含め、世界の核被害の実状にもっとも通じている専門家であり、このような事態について発言すべき方がたです。適切な発言を強く要望するものです。」

被災県連へ お見舞いと連帯の挨拶

3月14日、被災した各県連(宮城以外の青森・岩手・福島・茨城)へお見舞いと連帯の挨拶を届け、義捐金を振り込みました。(宮城への義捐金は12日に現地へ)

全日本民医連ホームページ 震災支援のボタンを立ち上げました

全日本民医連からの訴えや支援ニュース、各地の取り組みなどを随時アップしますので参考にしてください。<http://www.min-iren.gr.jp/>

☆全日本民医連支援ニュースの活用をお願いします☆

☆全日本民医連支援ニュースは、4号まで病院長アドレスにも送信していましたが、5号以降は全日本民医連四役・理事・各県連までの送信とします。各県連におかれましては、各事業所にリアルタイムに転送をお願いします。